

だんだん

初夏の彩り

当間高原リゾート ベルナティオ「花だいら」で行われた第13回アイリスまつり。色とりどりに咲き誇る季節の花々は、訪れた人々を色鮮やかな初夏の装いに包み込みます。(5ページ参照)



主な内容

- めざせ 北京五輪金メダル 2-3
- 笹山じょうもん市 / アイリスまつり 4-5
- 地域の風～支所からのたより 6-7
- ときめきネットワークほか 8-9
- まちの話題 TOPICS 10-13
- 十日町市職員募集 14
- 十日町地域協議会連絡協議会設置ほか 15
- お知らせ・ガイド 16-19
- ジュニア芸術祭 - 上野小学校 - 20

めざせ 北京五輪 金メダル

全日本女子レスリングナショナルチーム

栄冠はぐくむ塩之又桜花レスリング道場



数々の世界大会で栄冠に輝き、脚光を浴びる全日本女子レスリングナショナルチーム。今年の世界選手権や来年開催される北京オリンピックなどでの全階級メダル獲得が期待されています。今年度、9回の全日本強化合宿が行われる中、塩之又・桜花レスリング道場（桜花道場）では5回の合宿が予定されていて、まさに世界を目指す選手たちを支える場になっています。

5月22日（火）、桜花道場での公開練習が行われ、地元市民やテレビ・新聞など約20社のマスコミ関係者が訪れ、その注目の度合いがうかがわれました。合宿に参加する選手と選手を支える皆さんにうかがいました。

2004年アテネオリンピックから女子レスリングが正式種目として加わり、金メダル2個をはじめ4階級すべてでメダルを獲得。また、昨年の世界選手権（中国・広州）では、金メダル5個をはじめ7階級すべてでメダルを獲得するなど、活躍目覚ましい全日本女子レスリングナショナルチームです。

5月20日（日）から6日間にわたって行われた桜花レスリング道場での第2次全日本強化合宿には、浜口京子さんや吉田沙保里さんなど強化指定選手23人が参加。地形の起伏を生かした走りこみやスパリーニングなどのハードなトレーニングを積み、9月



丸山秀二さん
（稲葉・65歳）

桜花道場開所以来、その運営の中心的役割を担う丸山さん。平成5年に全日本女子レスリング連盟の副会長に就任し、世界の大会でも日本チーム選手団長として参加するなど、選手たちを支えています。また、今年4月には（財）日本レスリング協会副会長に就任し、日本レスリングの発展に貢献しています。

◆丸山さん 女子レスリングチームが占有して使え、集中できるこの練習環境は合宿に最も適していると思います。そして何より地元の方々の協力体制が選手たちの励みになっています。強化に向けては、基礎体力の増強が必要です。この地形を生かした補強トレーニングは精神の鍛錬にもなりますから効果は大きいです。世界クラスの大会が目白押しですが、強化指定選手を中心に最強の布陣で臨んで、全階級でメダル獲得を狙います。



に行われる世界選手権（アゼルバイジャン）に備えました。



◆浜口京子さん（72kg級）
5月に行われたアジア選手権（キルギスタン）の優勝で、精神的にも技術的にも充実しています。今、自分を追い込む中で、全力で練習に打ち込めます。この桜花道場には14年ほど前から来ていて、いつも初心に帰れる場所です。練習が終わってもマットが目の前にあるし、レスリング漬けの合宿の中で自分を奮い立たせられる精神修練の場でもあります。ここで練習を積んできた自分を信じ、その成果を存分に発揮して世界一を目指して頑張ります。

◆吉田沙保里さん（55kg級）
今年初めての桜花道場での合宿です。坂道を使った集落内のダッシュや筋力トレーニングで、少し筋肉痛ですが良いコンディションです。スパリーニングでもタックルやフオールを狙える技とスピードを養うように



本番さながらの気持ちを持ち続け、世界選手権まで気合いを入れて挑みます。2連覇がかかる北京オリンピックは、自分との戦いでもあります。もちろん目標は金メダルです。



JA十日町やジャスコ十日町店、東京十日町会などから激励の差し入れが贈られました

合宿期間中、選手たちの食事の支度をまかなう林幸子さん（川治中町・56歳）は、選手たちの十日町のお母さん。冬も地域の人たちや家族とともに管理を行いながら、道場を守り続けています。



けがをした選手を優しく気遣う林さん

◆林さん 練習を見ているとスタミナの大切さが分かります。食欲旺盛な選手たちを支えるのはやっぱり食事ですね。練習の合間に台所に来てつまみ食いとこなか、本当にかわいいですよ。テレビや新聞で見られない彼女たちに接することができると、私は幸せなのかも。自分の子どもみたいなものですから。厳しい練習なので、けがをしないかと心配です。でも、そのためのトレーニングですから。彼女たちが合宿に来ると、集落の中にもぎやかになって楽しいです。



市民も応援に駆けつけ、選手たちに声援を送っていました

道場に響く気合い、マットを叩く受け身の音。気迫のこもったいかつい表情の練習の後にみせる、選手たちの朗らかな笑顔。緑に囲まれた桜花レスリング道場で育った世界の王者たちに、日本中が大きな期待を寄せています。

桜花レスリング道場

昭和56年3月、六箇小学校塩之又分校の閉校後、市の研修センター「塩之又山荘」として活用。平成2年8月、日本大学OB会である中魚・十日町桜門会及び地元六箇地区振興会、塩之又集落が市と市議会に同大学のレスリング部合宿所誘致を請願。平成3年3月施設改築を開始し、5月に完成、開所を迎えた。平成13年9月には日本オリンピック委員会がアテネオリンピック女子レスリング強化拠点施設に指定。以降、全日本強化合宿のほか平成14年には世界合宿なども行われている。

縄文てんこもり

第8回笹山じょうもん市

6月3日(日)、笹山遺跡(中条上町)周辺で第8回笹山じょうもん市(中条地区振興会・中条公民館・NPO法人笹山縄文の里主催)が開かれました。太鼓や踊り、マラソン、露店、各種体験、抽選会など多彩な催しに約7,000人が参加。地区を挙げて縄文の1日を楽しみました。



じょうもんマラソンも開催

朝9時すぎ、中条小学校児童による笹山縄文太鼓によって開幕が告げられると、各種イベントや露店・フリーマーケットなどが一斉にオープン。市は活気とともにスタートしました。笹山遺跡周辺約2kmを走り抜ける第1回笹山じょうもんマラソンには、保育園児から50代まで92人が参加、縄文健児たちが健脚を競いました。



午後からは縄文音頭、天神ばやし、抽選会などが矢継ぎ早に催され、市のにぎわいは最高潮に。特別ゲストの俳優で考古学者の苧谷俊介さんのトークには、大きな人だかりができていました。

くずが人気

楽食空間と名付けられた食体験のコーナーでは、「4、500年前の笹山縄文人は何を食べていたのだらうか」とドングリせんべいやドングリもちのほか、木の実団子汁、鮭の蒸し焼きなどが振る舞われ、まさに「縄文の珍味てんこもり」。特に、山に自

第13回

アイリスまつり



ワンワンふれあいコーナーは子どもたちに大人気



親子で挑戦 そば打ち体験。自分で打ったそばの味は格別



ヘリコプター遊覧飛行で当間高原を空から観察



花の育て方も教えてくれる掘り売りは、初心者でも安心して買い求められます

苧谷俊介さん縄文の雄叫び



笹山じょうもん市は4回目。これからも来ます。これまで私たちは、物をたくさん作ってたくさん持っているのが幸せだという物質本意の生き方をしてきました。最近ようやくそうじゃないという方向に世界が動き始めました。日常生活と文化遺産、自然を一体に考えることが大事です。ラーメンに例えると、ここは国宝という極上のめん、豊かな自然というスープと具、それを食べる皆さんという最高の条件がそろっています。さあ、縄文人と同じように、自然の精霊と一体になるための雄叫びをあげましょう。「お～お～お～！お～お～」。

生ずる葛の根からとった葛粉で作った葛ねりは今年の目玉として人気を集めていました。



新しい発想で全国発信

親子で参加した樋口里津子さん(背戸・31歳)は、「地区の人たちみんなで盛り上がりつつあるところが魅力ですね。いいところに嫁にきました(笑)」と感想を語りました。催しを主催した中条地区振興会会長の須藤誠也さん(中条島・71歳)は、「地区の17集落が集まって遊ぶ・自慢する催しとして定着してきました。特に女性のかかわりが大きいです。昨年NPO組織もできたことから、新しい発想で老若男女が集う層の厚い活動を進め、全国に情報発信していきたいですね」と意欲的でした。

5月19日(土)～6月3日(日)までの16日間、当間高原リゾートで行われた第13回アイリスまつりには、期間中約2万人の観光客でにぎわいました。約3万株のジャーマンアイリスのほかアイスランドポピーやマーガレットなど30種類もの可憐な季節の花が観賞できるとあって、休日には県外からも観光バスが訪れるなど、回を重ねるごとに人気が高まっています。



吉田明さん講師による七輪陶芸には、多くの陶芸ファンが集まりました

湯ノ米マイ心ハート

まつのやま

松之山支所
☎596-3131

ヤマフジ、タニウツギ満開の中で交流 渋谷区商店街、貸し農園会員が田植え

5月26日(土)と27日(日)の2日間、東京都渋谷区富ヶ谷一丁目商店街の皆さん22人が松之山を訪れ、浦田地区の棚田で恒例となった田植えを行いました。

富ヶ谷商店街と松之山地域との交流が始まったのは今から7年前のこと。富ヶ谷一丁目商店街役員の佐藤三郎さんが、渋谷区民まつりの際に、旧松之山町への誘客宣伝と物産販売



すげがさ姿の富ヶ谷商店街の皆さん

を行ったことがきっかけです。交流活動が長続きするようにと、活動として稲作を選び、これまで子どもからお年寄りまで幅広い年齢層の人たちが松之山地域を訪れていました。商店街役員の熱い思いで6年目となった今年も、田植えのほか山菜採りや森林浴、棚田浴、温泉浴、スロープーズなどを体験。松之山地域の自然を思う存分に楽しんでいました。11月には、松之山地域から渋谷区民まつりを訪問することになっています。

また同日、湯山地区で、今年で16年目となる「グリーンリース・ふるさと貸し農園」の田植えが行われ、関東方面から会員約60人が参加しました。会員の多くは発足当初からの皆さんで、自前の長靴を持参するなど、作業も手際よく本格的でした。貸し農園管理委員会のオーナー代表の岡村次郎さんは「米に加え、温泉やスキーなど年間を通じて楽しめるのが魅力です」と話していました。

かわい新聞

川西支所
☎768-3111

交通死亡事故「0」1,000日

達成記念イベント開催！

5月12日(土)、千手中央コミュニティセンター前駐車場で、川西地域での交通死亡事故「0」1,000日達成記念イベントが開催されました。

川西地域内では、3年前の平成16年8月11日から交通死亡事故ゼロを継続していますが、5月7日(月)に節目の1,000日を達成しました。

当日は快晴に恵まれ、十日町警察署清水交通課長、十日町地区交通安全協会中村副会長ほか関係者40人が出席しました。

イベントでは、この記録が今後も更に伸びていくように、関係者一同一丸となり、一層交通安全推進にまい進していくことを誓い合いました。その後、千手郵便局前に交通指導所を設置し、通行するドライバーに安全運転を呼びかけました。



イベントをとおし、交通安全の推進を図っていきます。

自治宝くじ助成で 音響設備を整備

松之山文化協会では、自治宝くじコミュニティ助成事業の助成を受けて、アンプやミキサー、ピシマイクなどの音響設備を整備しました。この助成事業はコミュニティの健全な発展のため、宝くじの収益金が利用されているものです。

松之山文化協会が、地域の芸能文化の振興や伝統芸能の伝承保存活動に積極的に取り組んでいることから、その活動が認められ今年度の助成対象となった



ものです。今後、整備した音響設備を活用し、地域文化の振興や芸能祭の開催などコミュニティ活動の活性化を図っていきます。

新緑の季節にぎわう“松之山温泉まつり”

松之山温泉の観光の幕開けとなる「松之山温泉まつり」が5月19日(土)、松之山温泉駐車場「峡谷の灯籠」特設ステージで開催されました。今年から「新緑温泉まつり」と改め、温泉まつりのほか山菜まつりや探鳥会など、新緑の季節にふさわしい多彩なイベントが6月3日(日)まで開催されました。

温泉まつりは、あいにくの小雨模様でしたが、保育園児による管領塚供養を皮切りに、稚児行列や松之山中学校生徒によるプラスバンド演奏、温泉子どもみこし、よさこいソーランパレードと続き、祭りは最高潮へ。夕方からのBSNラジオ「縁歌劇場」の公開録音が行われ、司会の大倉修吾さんの軽快なおしゃべりと



ゲストの津島悦子さんの歌に、集まった約1,000人の観客は寒さを忘れて声援と拍手を送っていました。

晴天に恵まれて節黒城山開き

5月27日(日)、第37回節黒城山開き祭りが節黒城跡で開催されました。

節黒城は、南北朝時代の正平7年(1352年)、新田一族の拠点として築城されたと伝えられています。戦国時代には長尾為景、上杉謙信に属する武將上野氏の居城となりました。

当日は、上野氏の碑がある山頂で安全祈願祭が行われた



後、大井田城(中条)をはじめとする、市内・小千谷市に点在する十数城との間で狼煙の交換が行われました。そして、この祭りのメインとも言える大行列が、新緑まぶしい山を下りました。中腹の広場では埋蔵金探しや芸能大会が催され、大勢の人出でにぎわいました。

「緑の募金」ご協力 ありがとうございました

川西地域では、各小学校ごとに4つの緑の少年団が組織され、平成19年度の団員は162人となっています。5月には新入団員の入団式も済ませ、今年度最初の活動として「緑の募金」の街頭募金を行いました。

緑の少年団が集めた募金は家庭募金などとともに(社)にいがた緑の百年物語緑化推進委員会に送られ、記念植樹事業や森づくり事業、緑の少年団の育成事業など、県内の緑化活動に利用されます。



平野農林課長へ募金を手渡す
上野小緑の少年団



小野塚 詩ちゃん
おのづか うたちちゃん
平成15年12月24日生まれ
上蝦池

知らない人にはすぐ人見知りするうたちちゃんですが、本当はよくしゃべりよく笑いう気な女の子です。パパがだい好きうたちちゃんは、夜寝るときも夜中のトイレもパパご指名です。

あーる キヤン

24



中澤 悠斗・優灯ちゃん
なかざわ ゆうとちゃん・ゆうひちゃん
平成17年6月13日生まれ 田中町本通り

いつもにこにこ笑顔の双子ちゃん。おもちゃはなんでも2つずつ。ときどきおもちゃの取り合いでけんかするけど、勝つのはいつも弟のゆうひちゃんです。「くるる」に遊びに行くのがだい好き！です。

ときめき ネットワーク

24

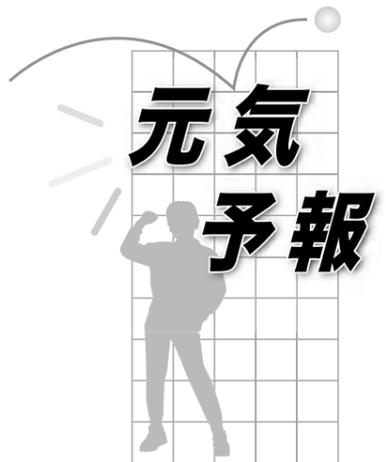
子どもたちの笑顔が元気のもと

短大の実習でこの幼稚園に来て、絶対にこの園に勤めたいと思っていました。だから、卒業して1年、東京の幼稚園で採用を待ちました。何と言っても職員間のチームワークが万全。経験浅い私でも先輩がフォローしてくれるから安心できます。この道を選んだのは高校2年のとき。テレビで愛情豊かな子どもたちのドキュメンタリーを観て、自分の愛を注ぐことで役に立てるならと思ったんです。保育者になって2年。思っていた以上に保育の深さを実感しています。子どもたち一人ひとりの個性や成長の早さに合った接し方で、心を開いたり朗らかになったり。まだまだ勉強中の私ですが、子どもたちとともに保育者として成長していきたいです。そして、子どもたちが「園に行つて先生に会いたい、友だちに会いたい」なんて、思われるようになればいいなあ。子どもたちの笑顔、元気な声、私を元気にしてくれる源です。



和田 愛さん
1985年生
むつみ幼稚園・保育園勤務

先月の浦沢剛さんからハトンタッチ。



問合せ 健康支援課母子保健係
TEL757-3719（内線121）

「栄養・食生活」

健康とまがまが シリーズ②

シリーズ2回目の今回は、食育月間（6月1日～6月30日）にちなみ、「栄養・食生活」を紹介しします。

＜重点目標＞
毎日朝ごはんを食べる
人の割合を高める
（現状値86% ↓ 目標値23年度90%）

朝ごはんを食べることは、体の機能を活発にし、1日を快適に過ごすための基本になります。

「毎日朝ごはんを食べましょう！」



＜サブ目標＞
主食・主菜・副菜をそろえるなど、栄養のバランスに気を付ける人の割合を高める
（現状値77% ↓ 目標値23年度82%）

栄養の偏りを防ぐには、いつもと違う食材にも目を向けて同じような料理が続かないように、食材や献立を選ぶ力を養うことが大切です。

「主食・主菜・副菜がそろった食事を、好き嫌いせず食べましょう！」

6月17日(日)企画提案会開催

市と連携して、高速情報通信基盤の整備及び情報サービス提供を行う事業者を選定するための企画提案会が、6月17日(日)にユーモールで開催されます。前回もお知らせしたように、この企画提案会に参加する事業者は、公募を経て市が指名した3事業者（複数の事業者からなる連合体も含む）です。

企画提案会では、金額や技術面など、事前に市が提示した募集要項（仕様書）に基づき、参加事業者から企業ノウハウを含んださまざまな企画が提案されます。これらの内容が公開されることで参加事業者に不利益が生じる可能性がありますが、企画提案会はあらかじめ募集要項で定められた対象者（企画提案会の参加対象に記述した①～⑤の人）以外には公開しないことにしています。

◆企画提案会の参加対象者

- ① 事業者選定委員会委員18人（最終的に提案事業者の順位付けを行う権限を有する）
- ② 市議会議員38人
- ③ 情報化推進会議委員21人

光ケーブルネットワークで 地域が変わる

VOL.25

◆問合せ◆
総合政策課
地域情報化推進室
情報政策係
☎757-3196

- （利害関係者を除く）
- ④ 各地区地域協議会代表者22人（1地域協議会2人の推薦）
- ⑤ 情報化庁内推進委員会委員18人（合計117人）

◆企画提案会の進め方

各参加事業者が60分の持ち時間で企画提案書の説明をします。また、説明が終了することに、事業者選定委員会委員と各事業者との間で、説明内容に対する質疑応答を行います。これらの作業終了後、事業者選定委員会委員以外の出席者には、あらかじめ設定した項目ごとに、どの事業者の提案内容が十日町市の情報化に最もふさわしいかを問うアンケートに答えてもらいます。

さらに、企画提案会終了後（当日の夜）には第5回事業者選定委員会を開催し、アンケートの集計結果も参考にしながら、事業者選定委員会委員が評価（点数付け）を行い、その日のうちに参加事業者の順位付け（優劣）を行う予定です。この順位付けを受け、6月25日(月)までには市長が連携事業者を決定します。

※次回は、企画提案会後の地域情報化のスケジュールなどについてお知らせします。

食事の量に気を配っている人の割合を高める
（現状値30% ↓ 目標値23年度35%）

自分の体と活動量に応じた食事の量が、肥満ややせ過ぎを予防します。

「よくかみ、腹八分目を心がけましょう！」

塩分をひかえるように心がける人の割合を高める
（現状値71% ↓ 目標値23年度75%）

塩分をひかえると、高血圧予防になることが知られています。素材そのものの味を味わえることにもつながります。

「みそ汁は具たくさんにしましょう！」

食育について

「食育」という考え方は明治時代に既に存在していましたが、食育は、生きる上の基本であって、教育の3本の柱である知育・徳育・体育の基礎となるべきものと位置づけられます。食育月間にちなみ、作物や料理を作ってくれた人に「いただきます、ごちそうさま」と感謝し、楽しく食卓を囲む時間を作しましょう。



表彰状と盾を手にする布施克也院長(右)と早川丈夫事務長

県立松代病院が自治体立優良病院表彰

5月24日(木)、東京都内で自治体立優良病院表彰が行われ、県立松代病院(布施克也院長)が(社)全国自治体病院協議会/全国自治体病院開設者協議会の両会長表彰を受けました。これは、過去5年間の収支が黒字で地域医療に重要な役割を果たしているなどの条件を満たす自治体立病院が対象になるもので、今年は総務大臣表彰に4病院、両会長表彰に5病院が選ばれました。県内では昭和63年度に県立十日町病院が同表彰を受けて以来の2例目。布施院長(48歳)は、「全国表彰は夢にも思っていませんでした。地域の人たちが、かかりつけ病院として適切に利用してくれているおかげ。これからも地域のためにきちんと機能する医療機関を目指します」と話していました。



6月3日(日)、市内外から約70人が参加して、当間山山開きが行われました。当間山登山入り口で、1年間の安全祈願の神事が行われたあと、頂上(1,016.5m)を目指す登山コースと、ブナ林回遊コースに分かれ、新緑まぶしい木立の中を登って行きました。主催した団体の一つ十日町山岳協会の上村虎夫さんは、「当間山は身近にあり親しみのある山です。リフレッシュに最適です」と話し、参加者は、約3時間の登山にさわやかな汗を流していました。

初夏の日差し浴びて当間山山開き

6月3日(日)、市内外から約70人が参加して、当間山山開きが行われました。当間山登山入り口で、1年間の安全祈願の神事が行われたあと、頂上(1,016.5m)を目指す登山コースと、ブナ林回遊コースに分かれ、新緑まぶしい木立の中を登って行きました。主催した団体の一つ十日町山岳協会の上村虎夫さんは、「当間山は身近にあり親しみのある山です。リフレッシュに最適です」と話し、参加者は、約3時間の登山にさわやかな汗を流していました。



エフエムとおかまちがギャラクシー賞選奨受賞

(株)エフエムとおかまち(村山政文代表取締役)が第44回ギャラクシー賞選奨に輝きました。同賞は、日本の放送文化に貢献した優秀な番組などに贈られる賞で、同社はラジオ部門で大賞、優秀賞に次ぐ選奨を受賞。受賞作は、新潟日報社のふるさと復興キャンペーン「心に太陽を」と連携して制作したもので、都市住民との交流(池谷)や大地の芸術祭(願入)をとおして震災復興に取り組む集落の人たちの活動を紹介したもので、村山代表取締役(53歳)は、「中越大地震を機に生まれたエフエムとおかまちが、震災復興をテーマにした番組で受賞できてうれしいです。視聴者の皆さんの励ましのおかげ。これからも、地域に密着した番組作りを進めます」と受賞の喜びを語りました。



まちの話題 TOWN TOPICS

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、総務課広報広聴係(☎757-3112内線213)へ、お気軽にお寄せください。

山菜と田舎ごっつおに舌鼓

毎年春の恒例行事となった、東京十日町会(春日寛会長)主催の「山菜と田舎ごっつおを味わう会」が、5月26日(土)、レポート十日町を会場に開催されました。今年で5回目となるこの催しに、東京十日町会と地元住民など合わせて約100人が参加。テーブルの上に並べられたぜんまいや木の芽など、盛りだくさんの山菜料理を楽しみました。この日、東京から参加した福井美由紀さん(53歳)は、「今年で4回目の参加です。今回は友だちも連れてきました。十日町の米、そば、酒、野菜なんでもおいしいです。十日町の人に十日町の良さをもっと知ってほしいです」と話していました。



子育て孫育て応援セミナー

(社)十日町青年会議所創立50周年を記念して5月30日(水)、市民会館で講演会が開催されました。「親学」をテーマに、高橋史朗明星大学教授を講師に迎え3回シリーズで行われるものです。1回目この日は、胎児・乳幼児期のこころの教育について講演しました。参加した3歳の子どもを持つ夫婦は「愛情を持って子どもと接することがいかに大切なのかを再認識しました」と感想を話していました。2回目は7月17日(水)、同会場で児童・思春期こころの教育が開催されます。

備えは万全水防訓練

梅雨季に備え、洪水に対する水防作業の安全と適切な対処を図ろうと5月24日(木)、中里グラウンドで信濃川水防訓練が行われました。信濃川・魚野川水防連絡会の主催によるこの訓練には、国土交通省信濃川河川事務所の職員はじめ行政関係者や十日町地域消防本部など消防関係者約200人が参加しました。午後7時過ぎ、訓練に参加した消防団員は、本番さながらのきびきびとした行動で堤防を守るための「改良積み土のう」「木流し」「ブロック投入」などの水防工法を実践しました。訓練により水防技術を磨くことで、信濃川や急流な中小河川が多いこの地域の、安全安心が保たれています。



森の歌族ファーストコンサート

5月27日(日)、千年の森ホールで「森の歌族ファーストコンサート」(森の歌族実行委員会・がちようの会主催)が行われました。このコンサートは、昨年4月の千年の森ホールの完成をきっかけに企画され、今回が第一回目の発表会。主にクラシカルな歌曲の愛好家が集まり、第1ステージではがちようの会や長岡メンネルコールなど7組が美しいハーモニーを、第2ステージでは専門指導を受けた愛好家など16組が本格的な声楽を披露し、観客を魅了していました。





白羽毛集落と多摩美大“大地”の農業交流

6月3日(日)、白羽毛集落と多摩美術大学学生の田植え体験交流が行われました。これは、同大学准教授の青木野枝さんが、大地の芸術祭で作品を制作したことをきっかけに、昨年からの田植えや稲刈りなどの農業体験交流が行われているものです。今回参加した青木さんと学生など7人は、澄み切った青空の下、楽しみながら丁寧に苗を植えました。中川恵さん(3年)は、「初めて田植えをしましたが、おいしいお米に育ってほしいです」と早くも収穫を心待ちにしていました。交流の世話人である樋口徹さん(38歳)は、「特別なイベントでなくても、年間を通じた交流で個人同士がつながっていけばいいね」と、青木さんたちと親しく言葉を交わしていました。

自分だけの紙ランプ

6月2日(土)、昨夏の大地の芸術祭でも人気スポットだった「脱皮する家」(星峠)で、紙ランプを作るワークショップが行われました。今回指導にあたったのは、「脱皮する家」の運営に協力している建築家の武藤郁生さんと照明デザイナーの玉井俊二さん。参加した26人は、木や竹ひご、和紙を使い約3時間かけて紙ランプを作りました。東京都から参加した女性は、「思ったより難しく、イメージに近づけるのに苦労しました。家で大切に使用します」と仕上がりを喜んでいました。



愛らしい野鳥にひかれて 松之山探鳥会

6月2日(土)・3日(日)の2日間、第51回松之山探鳥会が美人林周辺などで開催され、市内外からの野鳥ファン約70人が参加しました。2日は、松之山温泉センターで野鳥集會が行われ、翌朝の探鳥会に向けての勉強会がありました。講師の田畑孝宏さんと相沢空見子さんから野鳥のそれぞれの専門分野について講演があり、参加者は熱心に聞き入っていました。翌日3日は、早朝4時30分から美人林などで探鳥会が行われ、2時間ほどかけてバードウォッチングを楽しみました。この日、確認された野鳥は45種。アカショウビンやノジコといった松之山ならではの野鳥たちに出会い、参加者は双眼鏡で覗いたり写真を撮ったりしながらその愛らしさに満足していました。

なごみの家で歯科健診

歯の衛生週間の一環として6月1日(金)、知的障害者授産施設なごみの家で歯科健診が行われました。これは、(株)十日町市中魚沼郡歯科医師会(伏見勝会長)が毎年実施しているもので、今年で6回目になります。当日は市内の3人の歯科医師が健診にあたり、なごみの家やワークセンターなど、精神障害者入所授産施設エンゼル妻有の利用者など約90人が受診しました。緊張した表情で順番を待っていた受診者も、健診後には笑顔で白い歯を見せていました。



tokamachi topics

tokamachi topics

10年の感謝を込めて

5月27日(日)、第10回森の朝コンサートが星と森の詩美術館で開催されました。出演者は、オカリーナ奏者の五十嵐正子さんとエレクトーン奏者の斎藤純子さんと、「コンドルは飛んで行く」や「風の谷のナウシカ」など全12曲を演奏しました。風の強い日でしたが、多くの方が訪れ、オカリーナとエレクトーンの澄んだ音色に、目を閉じて聴き入っている人もいました。五十嵐さんは、「いつも準備を手伝ってくださる皆さんには本当に感謝しています。このコンサートも始まってもう10年経ちましたが、これからも11年目、12年目と皆さんにお会いしたいと思います」と話していました。



マリンバの調べにうっとり!

5月25日(金)、松之山自然休養村センターで松之山女性ネットワーク主催による「マリンバの夕べ」が開催されました。マリンバは木琴の仲間で、マレットと呼ばれるバチで音板を打ち独特の音色を奏でる打楽器です。この日は、国内で活躍しているマリンバ奏者の秋田円美さんを迎えて開催。片手に2本のマレットを持ち、メロディーと和音を同時に奏でながら、「荒城の月」や「夏の思い出」など12曲が演奏されました。秋田さんが奏でるマリンバからは、打楽器とは思えないメロディーと木のあたたかい音色が響き渡り、会場を埋めた約120人はマリンバの魅力に酔いしれていました。



震災記録を市民の手で

市では、今年度中越大地震の震災の記録集を発行する予定で広く体験談などを募集しています。また、市民の皆さんから編集にも関わってもらおうと市民編集委員会を設けました。5月24日(木)、さまざまな立場で活動を続ける市民代表や各種団体の関係者など18人がサンクローズに集まり、震災時の体験や記録集の企画案などについて話し合いました。今後は、内容を検討することにも、取材や資料収集などを進めて、年内の発行を目指しています。秋口には概要をお知らせする予定です。



いつも身近に交通安全

5月30日(水)、(株)十日町地区交通安全協会(児玉昭一郎会長)から市内公民館への交通安全標語入りトイレットペーパーの贈呈式が行われました。これは、今年1月、交通安全賞章「緑十字銀章」を受章した小川信一さんが、3月をもって同協会の副会長を退任するにあたり、700個を寄贈したもので、多くの人が利用する公共の施設で役立ててほしいと同協会が公民館や高等学校に贈りました。小川さんは、「いつも交通安全の意識を持って交通事故のない社会を目指してください」と話していました。

平成20年度採用 十日町市 職員募集



平成20年4月1日採用の十日町市職員採用試験を実施します。
十日町地域広域事務組合（消防士）の採用試験は8月に実施し、詳細については次号市報6月25日号でお知らせします。
高等学校卒業生などを対象とする職員の採用試験の実施は、未定です。

●募集職種・人数・受験資格

- ① 一般事務上級 若干名
学校教育法による大学卒業生（来春卒業見込者含む）
 - ② 土木上級 若干名
学校教育法による大学の土木専門課程卒業生（来春卒業見込者含む）
 - ③ 建築上級 若干名
学校教育法による大学の建築専門課程卒業生（来春卒業見込者含む）
- ※全職種とも、昭和55年4月2日以降に生まれた（採用日現在28歳に達しない）人

●試験方法

【第1次試験：筆記試験】
期日：7月29日(日)
会場：十日町保健センター

住民と行政による 協働のまちづくりをめざして 地域協議会連絡協議会が設置されました

それぞれの地域協議会活動の連携や情報交換、地域自治組織の更なる研究などを目的に各地域協議会の会長によって構成される「十日町地域協議会連絡協議会」が設置され、6月4日(月)、第1回目の会議が開催されました。

正副会長の選出後、地域協議会の取組み方針や今後の市との協働事業などについて協議しました。

また、新年度の各地域協議会の活動状況などの情報交換を行い、地域全体のまちづくりのあり方について、活発な議論が交わされました。

地域協議会連絡協議会委員は、次の11人です。

- ◎会長 ○副会長
- 水落 明（十日町地域協議会）
 - 大島清松（十日町西地域協議会）
 - 村山幸夫（十日町南地域協議会）
 - 須藤誠也（中条地域協議会）
 - ◎生越誠一（下条地域協議会）
 - 児玉孝夫（吉田地域協議会）
 - 上村國平（水沢地域協議会）
 - 押木久之（川西地域協議会）
 - 高橋訓彦（中里地域協議会）
 - 佐藤定行（松代地域協議会）
 - 柳 靖治（松之山地域協議会）

◆問合せ先

- 総合政策課自治振興係
☎757-3193
- 十日町地域内各公民館
- 各支所地域振興課自治振興係

試験科目：教養試験、専門試験、適性試験、作文

【第2次試験：面接試験】
期日：9月上旬（会場など詳細は1次試験合格者に直接通知）

●申込み

土・日曜日、祝日を除く7月5日（木）までの午前8時30分～午後5時30分に、必要書類を総務課人事係に提出（持参する場合は本人以外でも可、郵送可※7月5日必着）

●必要書類

●職員採用試験申込書（総務課人事係に配置、ホームページ <http://www.city.tokanachi.niigata.jp>）

●給与（初任給）

170,200円（19年4月1日現在、受験資格取得直後に採用の場合）

●問合せ

総務課人事係 ☎757-3112

市役所 消防カス

40 備え万全！市役所避難訓練

「シリリリ…」市役所中に響き渡る警報ベル。取材のため、あらかじめ聞いてはいたものの、やはり警報が鳴ると肝を潰す。まず、何するんだったかな。緊張感がひた走る。5月23日(水)に行われた市役所避難訓練。不特定の人が入りする市役所はまず来庁している市民の安全な避難が優先。あつ、3階に煙から逃げ遅れた職員が。そこで取り出した救助袋。高さ約15mから滑り降りるスリル。避難訓練はもとより、器具の点検も兼ねているのです。

市民と市長の対話 まち・むらトークを 始めます



地域（おおむね地域協議会単位）に市長ほかが出向き、まちづくりについて意見交換をする平成19年度「まち・むらトーク」を始めます。

1、開催地・テーマ募集
①開催地募集：地域協議会（事情により地区振興会）単位で開催地・テーマを募集します。

◆問合せ先

総務課広報広聴係
☎757-3112（内線213）

- 2、開催日・場所
 - ①開催日時：原則として平日の夜間（別途開催候補日を設けます）
 - ②開催場所：各地域の公民館や集会施設など
 - ③開催時間：2時間以内（おおむね午後7時から9時ごろまで）
- 3、申し込み方法
 - ①地域協議会（事務局）で取りまとめて申し込みます。
 - ②テーマ、発言・質問等の概要についてでも申し込みます。
 - ③開催受付は先着順とします。※詳しくは市ホームページをご覧ください。 <http://www.city.tokanachi.niigata.jp/>

市民と市長が対話する サタデー市長室

市民の声を市政に生かし相互に信頼関係を築くため、市民と市長が対話する「サタデー市長室」を行っています。参加を希望する場合は、下記により申し込んでください。

- ◆実施日 7月28日、8月11日、9月8日・22日（10月以降の開催日は未定）
- ◆実施場所 十日町市役所市長室
- ◆対象者 原則として市内に住所または勤務地・所在地がある個人及び団体（10人以内）
- ◆申込方法
 - 氏名、年齢、住所、電話番号、市長と話したい内容などを明記のうえ、電話・FAX・Eメール・郵送など適宜の方法で事前に申し込んでください。
 - 受付は先着順（開催日の3日前締切り）
- ◆対談時間 午前9時から正午まで。1組1時間以内
- ◆出席者 市長／関係職員など
- ◆その他
 - 市長公務の都合などで実施できない場合があります。また、内容により、対談によらず電話対応や文書回答することがあります。

申込み・問合せ：総務課広報広聴係（内線213）

GUIDE

お知らせ・ガイド
市役所 TEL 757-3111

GUIDE 催し座

「とっさの手当が生命を救う」 赤十字救急法救急員 養成講習会

日常の知識・技術として、救急隊が到着するまでの応急手当の方法を身につけておきましょう。
●日時 7月14日(土)～16日(月)午前9時30分～午後5時30分
●会場 川西福祉センター「はあとふる川西」●受講資格 満15歳以上で全日程を受講できる人 ●受講料 3,000円(テキスト教材費・保険料) ●定員 先着30人 ●内容 蘇生法、AED、包帯法、止血法など ●講師 日本赤十字社救急法指導員 ●資格交付 全日程修了者に修了証。全日程修了者で学科・実技の検定合格者に赤十字救急員

認定証(3年間有効)を交付 ● 申込み・問合せ 6月29日(金)まで に日本赤十字社十日町市地区 (十日町社会福祉協議会内 ☎750-5010)

立精神医療センター診療部長 ●
相談会・精神科医と精神保健福祉士による相談会 ※要予約 ●
問合せ 十日町地域振興局健康福祉部 ☎757-2400

平成19年度防火管理者 資格取得講習会

消防法施行令第3条第1項に基づき防火管理者資格講習会を行います。 ●期日 7月5日(木)～6日(金) ●対象 防火管理義務対象物に居住または勤務する人で防火管理者として選任される予定のある人 ●会場 クロス10 ●受講料 3,500円(テキスト代) ※指定の払込み用紙で金融機関へ振込み ●定員 先着100人 ●申込み・問合せ 6月29日(金)までに、申込み書(問合せ先)に写真1枚を添えて十日町地域消防本部予防課 ☎757-1557 または各分署所

犬のしつけ方教室
生後4か月～1歳前後の犬を飼っている家族を対象にしつけ方教室を開催します。 ●日時 7月4日(水)・11日(水)・18日(水)午後7時～8時30分 ●会場 十日町保健所駐車場 ●受講料 2,000円 ●定員 参加多数の場合先着順 ●申込み・問合せ 十日町地域振興局健康福祉部衛生環境課 ☎757-2707

市民健康講座 「アルコールに」用心

●日時 6月30日(土)午後1時～
●会場 情報館 ●内容 講演会・「アルコールのからだへの影響」講師 塚田芳久十日町病院院長・「アルコールのこころへの影響」講師 加藤佳彦新潟県

ふれあいの丘分校 学校参観&教育相談

●日時 6月24日(日)午後1時～4時30分(開場12時30分) ●会場 十日町地域振興局健康福祉部予防課 ☎757-1557

環境とまちづくり講演会

●日時 6月24日(日)午後1時～4時30分(開場12時30分) ●会場 十日町地域振興局健康福祉部予防課 ☎757-1557

きもの歴史館 収蔵展「越後縮展」

江戸時代のころから十日町で生産され、高級夏織物として珍重された越後縮を展示しています。 ●日時 7月10日(火)午前10時～午後5時 ※毎週水曜日は定休日 ●会場 キナレきもの歴史館 ●入場料 大人300円

コーディネーション トレーニング講習会

バランス感覚やリズム感に結びつくコーディネーション能力を高めてみませんか。 ●日時 6月23日(土)午前9時50分～(受付9時20分) 午後4時 ●会場 川西中学校 ●内容 ①親子(小学生と親)で体験②指導者講習会 ●参加費 ①親子で500円②1,500円 ●申込み・問合せ 6月21日(木)までに、申込み用紙をネージュスポーツクラブ事務局 ☎757-1889

きものから生まれた 心の小唄展

●日時 6月16日(土)～7月1日(日)午前9時～午後6時 ●会場 クロス10 ●展示品 明石ちぢみ衣装、時代品、十日町小唄踊りビデオ、竹久夢二画ポスターなど ●問合せ クロス10 ☎757-2323

小学生ソフトテニス クラブ参加者募集

●日時 毎週土曜日(第2土曜日を除く) 午後5時30分～7時30分 ●会場 市民体育館 ●年会費 3,000円 ●申込み・問合せ 湯沢 ☎757-9166

レクダンス講習会

●日時 6月26日(火)午後7時～(受付6時30分) ●会場 市民体育館 ●参加費 500円 ●講師 宮沢忠男さん(社)日本フォークダンス連盟公認指導者 ●持ち物 内履き ※運動のできる

ニユー農業塾 受講生募集

農業の経営に必要な技術や知識の習得を目指します。 ●受講期間 19年7月～21年2月 ●会場 十日町地域振興局ほか ●対象 新規就農者及び定年帰農者など(自家用車で移動できる人) ●参加費 無料(移動にかかる経費などは受講生の実費負担) ●コース ①水稲栽培技術コー

「藍・遊・夢」会員募集

初心者大歓迎!きもの街十日町らしく染織を趣味にしてみませんか。 ●定例会 毎月第一金曜日午後7時～8時 ●会費

複合型介護施設 三好園四ツ宮内覧会

三好園四ツ宮の一般公開を行います。しゅん工を記念して介護予防講演会と介護予防劇も行います。 ●日時 6月23日(土)・24日(日)午前10時～午後4時(講演会・劇は24日(日)午前10時30分～11時40分) ●場所 三好園四ツ宮(本町5丁目サンクロス隣) ●問合せ 特別養護老人ホーム三好園 ☎756-2106

第16回十日町市芸術協会 会員展(美術館建設基金 チャリティ小品展)

●日時 6月23日(土)・24日(日)午前9時～午後8時30分(24日は午後5時終了) ●会場 市民体育館 ●出品内容 日本画・洋画・現代美術・彫刻など ●入場料 無料 ●問合せ 小林 ☎757-1375

エルピーガスマツリ
安全性、環境へのやさしさなどLPガスのすばらしさをもっと感じてみませんか。 ●日時 6月23日(土)午前9時～午後5時 ●会場 津南中央ふれあいセンター ●問合せ 社)新潟県エルピーガス協会十日町支部(株)村山商

十日町・川西・中里地域と松代・松之山地域間のには市外局番025が必要です

寄付ありがとう

5月25日届出分まで (敬称略)

- 情報館へ＝渡邊富治 (学校町1) 山田陽一 (四日町新田2) 瀧沢義家 (寿町2) 関谷美希子 (松代) 坂本好子 (千葉県浦安市)
- 博物館へ＝藤田幹男 (下条下組)

2,000円 ●申込み・問合せ ☎ クロス10 (☎757-2323)

松代観音祭 打上花火募集

7月21日(土)の花火大会の日、夏の夜空にあなただけの花を咲かせてみませんか。●種類・価格 ☎4号玉(スターマイン)まで。7,500円 ●申込み・問合せ ☎6月20日(水)までに松代観音祭花火担当実行委員会 (☎597-2006)

おだまき山の会 清掃登山

守門岳(魚沼市)への日帰り清掃登山です。●日時 ☎7月1

土砂災害警戒情報が発表されます

6月15日(金)から、大雨による土砂災害の危険度が高まったときに「土砂災害警戒警報」が発表されます。これは、①住民の自主避難の判断②市の避難勧告など災害応急対策の支援を目的として提供されるものです。テレビやラジオでも放送されますので、避難などの参考にしてください。●問合せ：防災安全課防災安全係 ☎757-3197(内線286)

埋立てごみも エコクリーンセンターへ

埋立てごみの自己搬入もエコクリーンセンター(ごみ焼却場)で受け付けています。霧谷処分場には一般の人は直接入ること

同参画週間です。その取り組みの1つとして、女性の権利問題に焦点をあてた法律相談会を開催します。●日時 ☎6月23日(土)午前10時～午後3時 ●会場 ☎新潟県弁護士会館(新潟市新潟地方裁判所構内) ●対象 ☎原則として女性(関係者であれば立場や性別は不問) ●相談料 ☎無料 ●相談方法 ☎弁護士による電話相談 ※当日のみ (☎025-223-8252) と会場での面接相談も可 ●問合せ ☎総合政策課(内線235)

日(日)午前5時30分市役所出発 ●参加費 ☎大人1,000円 ●申込み・問合せ ☎おだまき山の会・宮沢 (☎758-2965) ※6月19日(火)午後7時30分市民会館で説明会を行います。

職業訓練受講生募集

重度身体障がい者の方を対象にウェブアクセシビリティデザイン科の受講生を募集します。自宅受講可能です。●受講期間 ☎7月3日(火)～12月28日(金) ●対象 ☎県内在住で職業能力開発施設への通所が困難な重度身体障がい者の方 ●授業料 ☎無料 ※教材費などは個人負担 ●定員 ☎5人 ●問合せ ☎7月2日(月)までに県立新潟テクノスクール (☎025-247-7397)

平成19年度国家公務員Ⅲ種(税務)募集

20年4月1日採用の職員を募集します。●受験資格 ☎昭和61年4月2日～平成2年4月1日生まれの人 ●受付期間 ☎6月26日(火)～7月3日(火) (土・日は除く) ●試験期日 ☎第1次試験(教養試験・適性試験・作文) ☎9月9日(日) ●第2次試験(身体検査ほか) ☎10月18日(木)～25日(木)の間1日 ●試験会場 ☎第1

ができませんので、間違いのないようお願いいたします。 ※十日町・川西・松代地域対象 ●問合せ ☎環境衛生課 (☎752-3924)

松代病院からのお知らせ

5月15日から「心療内科」を「精神科」に科名変更して診療を行っています。担当医師や診療時間、診療内容などは今までどおりです。●問合せ ☎県立松代病院 (☎025-597-2100)

6月は「食育月間」です

農林水産省では食べる・つくる・育むの5感で体験し始める。日本型食生活のテーマに食育を推進しています。毎年6月は「食育月間」、毎月19日は「食育の日」です。少なくとも週1日は家族そろって食卓を囲んでみてはいかがでしょうか。●問合せ ☎新潟農政事務所 (☎025-792-8211)

若者のための仕事相談 ジョブカフェオープン

仕事探しの悩み相談、適職探し、履歴書の書き方、面接の受け方などが無料で受けられます。34歳くらいまでの人で就職や転

第12回 あてま新喜劇フォーラム座公演

「東京タワー」をモチーフに、あてま新喜劇がおくる抱腹絶倒のステージ。6月15日(金)午後7時から特別ゲストに大倉修吾さんを迎えます。

- 日時：6月15日(金)・16日(土)午後7時30分～(開場7時)
- 会場：当間高原リゾート ●入場料：無料
- 問合せ：あてまフォーラム事務局 ☎757-3100

どうきょう **郷だわ** ～お椀とほくと、時々、お盆～

放送大学 10月入学生募集

19年度第2学期(10月入学)の教養学部生、大学院生を募集します。詳しくは問い合わせください。●受付期間 ☎6月15日(金)～8月15日(水) ●募集要項申

建築基準法改正についてのお知らせ

建築物の安全性を一層確保するため、建築基準法が改正され、平成19年6月20日から施行されます。法改正では建築確認・検査が強化され、一定規模以上の建築物については建築確認申請の審査項目が追加されるため、従来より審査に時間や費用がかかる場合があります。詳しい内容については克雪維持課建築住宅係(内線277)、南魚沼地域振興局地域整備部建築課(☎025-772-3958)または設計を依頼する建築士にお尋ねください。

「不法滞在」の外国人を雇用すると処罰される ことがあります

来日外国人を雇用・就労させる場合、旅券(パスポート)や外国人登録証明書などで「在留期間」や「在留資格」を確認することが必要です。「短期滞在」

職についての相談を希望する人はぜひ利用してください。予約が必要ですが場合により当日受付も可です。●開設日時 ☎毎週木曜日午前10時～午後4時(祝日・年末年始は休み) ●会場 ☎本町分庁舎 ●申込み ☎産業振興課雇用開発室 (☎757-3139) ●問合せ ☎ジョブカフェながおか (☎0258-381618)

十日町市だいじんがあ自慢大会

十日町市の「だいじんがあ」って何だと思いませんか?

「だいじんがあ」とは十日町地域の方言で「大事なもの」という意味です。キョロロでは、十日町市の魅力がいっぱい詰まった「だいじんがあ」をみなさんといっしょに集め、世界に向けて自慢する企画展を開催します。ぜひ、みなさんの自慢の「だいじんがあ」をキョロロに持ってきてください。想像もつかない、型にはまらない「だいじんがあ」も大歓迎です。

- 出展できるもの：十日町市に関係する「だいじんがあ」なもの・「だいじんがあ」の写真や絵・「だいじんがあ」についての自由研究など
- 出展できないもの：十日町市と関係がないもの・違法なもの・展示するとほかの人に迷惑がかかるもの
- 募集期間：～9月10日(月)まで
- 企画展：10月6日(土)～12月2日(日)
- 出展方法：出展を希望する人はキョロロまで連絡してください。連絡後、キョロロに直接持ってくるか、もしくはキョロロスタッフが受け取りにいきます。
- 応募・問合せ：「森の学校」キョロロ TEL:595-8311 FAX:595-8320 e-mail:kyororo@dolphin.ocn.ne.jp
- ホームページ：http://www.matsunoyama.com./kyororo/

キルト展で活用させていただきます。細かく切り取るので返却はできません。●受付期間 ☎7月31日(火)(必着) ●申込み・問合せ ☎十日町観光協会 (☎757-3345) ※送付前に問合せ先まで要電話

着物・半端布をゆずってください

不用になった着物や半端布を

無料法律相談会 女性の権利110番

6月23日(土)～29日(金)は男女共

慰霊巡拝事業のお知らせ

旧主要戦域における慰霊巡拝事業(厚生労働省主催)が実施されます。●実施戦域 ☎旧ソ連地域、中国東北地区、フィリピン、マリアナ諸島、ミヤンマー、トラック諸島、東部ニューギニア、ピスマーク・ソロモン諸島、硫黄島 ●実施期間 ☎19年8月下旬～20年2月下旬 ●問合せ ☎新潟県福祉保健課課後援恩給室 (☎025-280-5180)

コンクリートのひび割れた部分や土ほこりの吹き溜まりにまで、たくましく根を張り生い茂る草。アスファルトを突き破り、葎が柔らかい芽を出しているところもあります。人が指で開けられるものではない、雑草と呼ばれるものでも、それなりに名前がある植物です。誰が肥料や水をやるでもなく自分の力で育っています。可憐な花を付ける花卉は、人の心をいやし愛でられますが、手入れを怠るとたちまち弱ってしまいます。ど根性ダイコンやど根性スイカなど、よく話題になりますがアスファルトを突き破る葎にも力強さを感じ、何か勇気付けられることもありません。そんなことを思っている、道普請で草刈機のカッターを当てるためらってしまいます。

おはなのお

▼市のホームページでは、市内に咲く木や花などの写真をリアルタイムで紹介しています。これまでも美人林や二六公園のぶなの新緑、南雲原の菜の花や松代寺田の白ふじの開花状況、松之山の棚田などを紹介してきました。HPを見て問い合わせたり、訪れたりする人も結構いるとのこと。5日は当間高原のアイリスの花がページに彩りを添えています。今年は春先の低温のためか例年に無く遅い開花とのこと。HPで花の咲き具合を確認して、目の保養に足を運んでみませんか。

▼中越地震記録集の編集が始まりました。未曾有の震災を体験した1人として、未来の十日町を担う人たちにメッセージを残してみませんか。切は7月31日、まだまだ間に合います。ご応募お待ちしています。



発行/十日町市役所 〒948-8501 新潟県十日町市千歳町3丁目3番地 TEL.025-757-3112 FAX.752-4635
 E-mail info@city.tokamachi.niigata.jp URL http://www.city.tokamachi.niigata.jp 編集/総務課広報広聴係

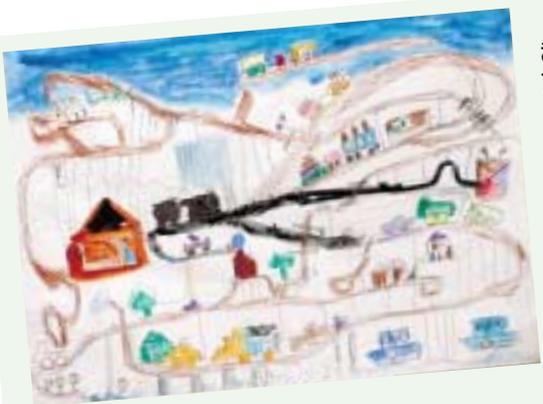


あそび



田村友唯さん (1年)

白いお城にはピンクのうさぎが住んでいて、犬やくまなど仲良しの友だちとお花畑を散歩してるよ。紙を重ねて切ったんだけど、どれが同じだか分かる？



きかん車の町



小林春人さん (2年)

ほくのまちにも、きかん車が走るといいなあ。きかん車に乗って海や空へ旅行するんだ。レールがジェットコースターみたいならスリルがあって楽しいよ。



ジュニア芸術祭

24

上野小学校



みんなのうけげき



涌井翔太さん (3年)

怖いサメが、町をこわしにやってきました。仲良しの海の生き物たちが力を合わせて町を守っています。上越市の水族館に行って、そんな光景を想像しました。



桜まんかい



澤口莉子さん (4年)

今年の4月は、学校のグラウンドに雪毛なく桜が満開のなかで遊べました。風に舞う花びらはとてもきれいです。みんなとても楽しそうだったので絵にしました。



かいっぱい大根抜き



中嶋 凌さん (5年)

去年、学校の畑でダイコンを作りました。大きくなったダイコンを一人で引き抜くのは大変でした。とったダイコンは、少し辛かったけどおいしかったです。



地球の思い



押木 瑠花さん (6年)

道路などにごみが落ちていたりいやな思いがします。みんなが協力してごみを減らすことで地球を守れると思います。心と心を結んで、住みよい地球にね！